

第7回 鹿児島県児童クラブ連絡協議会 総会

総会記念 講演会



- 日時 **2013(平成25)年6月9日(日) 13:00受付 13:30～15:30**
- 会場 **霧島市「国分いきいき交流センター」**
(霧島市国分重久 TEL 0995-48-5522)
- 受講料 **800円(資料代)* 加盟クラブは、500円**
- 主催 **鹿児島県児童クラブ連絡協議会 おおすみ学童保育の会 霧島市児童クラブ連絡会**
- 日程

- | | |
|---------|-------------|
| ■開会あいさつ | 13:30～13:40 |
| ■記念講演 | 13:40～14:50 |

講師:山本 博美(やまもと ひろみ)さん / 埼玉県八潮市どんぐり児童クラブ指導員
演題:「私たちが求める学童保育～みんなでつくろう、未来(あした)の学童保育」
～みんなつながりのなかで育ち合う～

【講師プロフィール】

埼玉県草加市・児童クラブの指導員。2005年から2011年まで全国学童保育連絡協議会の会長。パワフルであったかいベテラン指導員さんです。必ずどこかの研修会や講座で働きを持っていらっしゃる。その実践を基にしたお話は、子ども一人ひとり、そしておうちの方一人ひとりに対する優しさに満ち、鋭い切り口で語られます。

学童保育で子どもたちがどんな風に過ごしているのか、そして成長しているのか、などをお話いただけます。親が知らない子どもの姿を垣間見ることができると思います。

学童保育に関わるすべての方に、大きな示唆と、元気をくださる講演をしてくださると思います。

◆交流会

15:00～15:30

■ 記念講演

演 題：私たちが求める学童保育～みんなでつくろう、未来（あした）の学童保育 ～みんなつながりのなかで育ち合う～

講師：山本 博美（やまもと ひろみ）さん／埼玉県八潮市どんぐり児童クラブ指導員

はじめに

I あらためて考える 学童保育ってなんだろう

- ▶異動して気づいたこと 見えてきたもの
- ▶『子育てと働くことの両立』への願いに誠実に応えることこそ
 - ▶▶ 学童保育の基本的役割
- ▶『安心・つながり』は学童保育の宝 これを手放したらおしまい？！

II 学童保育を『安心感』の抱ける場に

- ▶毎日毎日通い続けることの意味
- ▶子どもにとっての安心感 親にとっての安心感
- ▶安心感の土台は人と人との関係・つながり
 - ▶子ども同士 子どもと指導員 指導員と親 親同士
- ▶関係・つながりづくりはたがいに向きあい伝えあうことから

III つながりのなかでこそ育つ・育ち合う

学童保育の子どもや保護者のさまざまな姿を通して……

- ▶ほんとはともだちもお兄ちゃんもほしかったダイスケ
- ▶評価にとられる緊張しいのリュウヘイ
- ▶大好きなお母さんの支えになりたいミキ
- ▶芯のあるチャラ男の卒室のことば ※学童ほいく誌 ‘12・9月号参照

IV 今も、これからも学童保育で大切にしたいこと

▶働きながらの子育てを励ましあう

忙しく余裕のない日々の生活、だからこそ立ち止まってひと息ついて♡
子どもを見つめ、生活を見渡し、自分を見つめ直す時間を
優先順位と自分の時間

▶指導員に求められるもの

いっしょに生活をおくる子どもたちの姿や思いや育ちを伝える
伝えることで保護者を励まし、つなげ、ともに支えていく力に
その力になることで、実は指導員も励まされ支えられている
『実践力』を高めよう！仲間と学ぶ ひとりでも学ぶ 学び続ける

新しい法律で何が決まったのか、私たちの取り組みの課題は何か

「子ども・子育て支援法」という法律が新しくでき、学童保育に関わる条文も含む児童福祉法の改定がありました。また、保育所と幼稚園を一体化し、保育所の仕組みも変える「認定こども園法一部改正」も行われました。

政府は、今後の子育て支援制度をこの法律にそって推進します。そして、2015年（平成27年）4月1日からの本格的な実施を目指しています。



「子ども・子育て支援法」と児童福祉法の改定で、学童保育について次のことが決まりました。

●「子ども・子育て支援法」

- ① 学童保育を、市町村が行う「地域子ども・子育て支援事業」（市町村事業）のひとつとして位置づける。（注）「地域子ども・子育て支援事業」の13事業は7ページに掲載。
- ② 「地域子ども・子育て支援事業計画」の策定を都道府県と市町村に義務づける。
- ③ 学童保育の補助金は、市町村の「地域子ども・子育て支援事業計画」に基づき支出される交付金（包括的な交付金）として出される。
→ 学童保育を含めた13の事業の「一括交付金」として国から市町村に支給される。
- ④ 交付金は、国から市町村への直接補助とする。都道府県は予算の範囲内で補助する。
→ 都道府県は交付金の3分の1の額を負担する。
- ⑤ 国に「子ども・子育て会議」を設置する（2013年4月設置）。また、都道府県と市町村には「地方版子ども・子育て会議」を設置することが努力義務とされた（国と同じく2013年4月設置）。
- ⑥ 法律の附則に「指導員の処遇の改善、人材確保の方策を検討」が盛り込まれた。

「子ども・子育て支援法」で私たちが懸念すること


- 「市町村事業」は、市町村にどのような責務が課せられるのかがあいまい。
- 事業計画は、「量の拡大」だけでなく「質の拡充」も細かく計画されるのか。
- 交付金が、これまでの補助金のように確実に学童保育に使われる予算となるのか。
- 都道府県の役割・責務があいまい。都道府県の財政負担は確実にできるのか。
- 「子ども・子育て会議」にはどのような権限があるのか。学童保育関係者は参画できるのか。
- 都道府県・市町村は努力義務となっている「地方版子ども・子育て会議」を設置するのかどうか。設置した場合には、学童保育関係者も参画できるのか。
- 「指導員の処遇の改善、人材確保の方策の検討」が確実に行われ、手立てが講じられるのか。

●児童福祉法の改定 （条文と私たちの要望から見た問題点は4ページ参照）

- ① 対象児童を6年生までの「小学生」に引き上げる。
- ② 国・都道府県・市町村以外の者が学童保育を実施する場合には市町村の届け出を必要とする。
- ③ 国としての学童保育の基準を省令で定め、市町村は国の定める基準に従い、条例で基準を定める。指導員の資格と配置基準は、国が決めた基準に従う。それ以外は、国の決めた基準を「参考にして」（参酌して）、市町村が基準を決める。
- ④ 市町村長は、条例で決めた基準の維持のために実施者に報告を求め、検査などを行う。
- ⑤ 市町村は、余裕教室等の公有財産の貸し付け等を積極的に行い、実施の促進を図る。

政府が予定しているスケジュールと私たちの要望・働きかけの課題

市町村が事業計画を検討したり、条例に盛り込む学童保育の基準を検討するのは2013年度。決定するのは2014年度です。学童保育を拡充するような内容の事業計画や条例にさせていくためには、2012年度中に私たちの要望と働きかけの方針をまとめ、2013年度にしっかりと働きかけていくことが必要です。

	政府がイメージしているスケジュール	市町村・都道府県の仕事	私たちの課題
2012年度	<ul style="list-style-type: none"> ○政府から地方自治体に、新しい子育て支援施策の具体化の検討状況を適宜、情報提供。 ○国に「子ども・子育て支援新制度施行準備室」を設置（内閣府） ○地方自治体に「地方版子ども・子育て会議」の発足をさせて、4月からのスタートすることを求める（努力義務）。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国からの情報をもとに自治体としての方針を検討。 ○2013年度予算案に必要な費用（①「地方版子ども・子育て会議」設置に関わる経費、②ニーズ調査に関わる経費、③制度管理システム調達の経費）を計上。 ○「地方版子ども・子育て会議」を設置するか判断し、設置する場合のメンバーの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ➡新しい子育て支援策の内容とスケジュール、学童保育を拡充させていくための課題を学習し、自治体にどのような働きかけを行っていく必要があるのかの方針をまとめる。私たちが望む学童保育のあり方（基準など）をまとめて自治体に要望していく。 ➡2013年度予算での必要な経費の予算化を要望していく。 ➡市町村・都道府県に「地方版子ども・子育て会議」の設置を求め、学童保育の専門団体として会議メンバーに入れるよう要望していく。
2013年度	<ul style="list-style-type: none"> ○国の「子ども・子育て会議」を発足（新しい子育て支援策の重要事項を検討） （注）重要事項とは、地方自治体に策定を義務づけている「地域子ども・子育て支援事業計画」の「基本指針」を検討など（2013年度半ばに策定か？） ○「地域子ども・子育て支援事業計画」策定の基本指針を策定し、地方自治体に示す ○学童保育の国としての基準を策定して市町村に提示 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村・都道府県の「地方版子ども・子育て会議」を発足（新しい子育て支援策の重要事項を検討） ○「地域子ども・子育て支援事業計画」策定のためのニーズ調査の実施 ○「地域子ども・子育て支援事業計画」策定の検討 ○市町村として学童保育の基準の条例化を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ➡「地方版子ども・子育て会議」のメンバーとして、学童保育の拡充が図れるよう意見や要望を出していく。 ➡しっかりとしたニーズ調査を実施するよう自治体に働きかける。 ➡学童保育が量的にも質的にも拡充されるような事業計画となるよう要望していく。 ➡私たちが求める学童保育の基準を要望していく
2014年度	<ul style="list-style-type: none"> ○国から市町村に出される交付金の予算編成 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村・都道府県の「地域子ども・子育て支援事業計画」を策定（「地域子ども・子育て支援事業計画」の検討と策定ほか） ○市町村が学童保育の基準を条例制定（議会で審議） ○学童保育の実施に関する届け出受理 ○国からの交付金の市町村負担分の予算編成 	<ul style="list-style-type: none"> ➡私たちの求める学童保育の基準の要望実現を、行政だけでなく市議会にも働きかけていく ➡予算要望
2015年度	<ul style="list-style-type: none"> ○4月本格実施（施行）スタート ○内閣府に「子ども・子育て本部」設置 ○交付金の支給 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治体において実施体制を整備 ○「地域子ども・子育て支援事業計画」がスタート ○学童保育の基準を定めた条例の施行 	

【鹿児島県児童クラブ連絡協議会 これまでのあゆみ～講演会から】

■2007(平成19)年度

☆2007年6月3日 鹿児島県連絡協議会結成記念講演会／鹿児島市「黎明館」

記念講演 「手をつないで子育て～学童保育～」

講師 河野伸枝(このの・のぶえ)さん(全国学童連副会長・南さつま市坊津出身)

☆鹿児島県児童クラブ連絡会ブロック別「指導員研修会」

①肝属地区会場

とき 2008年2月9日(土) 19:00～

ところ 「鹿屋東地区学習センター」(鹿屋市寿8丁目)

②北薩地区会場

とき 2008年2月10日(日) 14:00～

ところ 薩摩川内市「川内文化ホール」(市役所近く)

③講師 河野伸枝さん(全国学童連副会長・南さつま市坊津出身)

テーマ 「子どもの育ちと学童保育～指導員の役割」

☆霧島市児童クラブ連絡会「指導員研修会」 2007年10月14日(日)／霧島市「いきいき国分交流センター」

i) 講演 演題:「課題を抱える親子への支援のあり方」

講師:山喜 高秀 先生(志学館大学 准教授)

ii) ワークショップ 小グループに分かれての ディスカッション

■2008(平成20)年度

☆2008年6月1日 一周年記念講演会／かごしま県民交流センター

記念講演 「子ども理解を深めるために～つながりあいの子育て～」

講師 竹内 れい子さん(埼玉県草加市の指導員)

☆鹿児島県児童クラブ連絡会ブロック別「指導員研修会」

①始良伊佐地区会場

とき 2009年2月13日(金) 9:30～

ところ 「霧島市国分総合福祉センター」3F大会議室

②大隅地区会場

とき 2009年2月14日(土) 午後6時受付 午後6時半～9時

ところ 曾於市「弥五郎伝説の里」(曾於市大隅町岩川5718-1 TEL 099-482-3013)

③講師 河野 伸枝さん(全国学童保育連絡協議会副会長・南さつま市坊津出身)

テーマ 「今日の子どもの育ちと学童保育の役割」 講座:「指導員の仕事と役割、心構え」&ワークショップ

☆第1回新年度を控えての指導員研修会(新人) 2008年3月2日／霧島市「いきいき国分交流センター」

i) 指導員研修会のオリエンテーションにかえて 加来 宗暁さん(連絡会会長)

ii) 研修会 「放課後児童クラブで行われる活動と指導員が取り組む仕事の内容」

講座 ①子どもの健康管理、安全確保、情緒の安定に係る活動

②基本的な生活習慣の確立に向けた指導

③遊びや体験を通じ、自主性、社会性、創造性を培う活動

iii) ワークショップ(小グループに分かれて)

■2009(平成21)年度

☆2009年6月7日 第1回かごしま「学童保育」シンポジウム／鹿児島市「マリパレスかごしま」

i) 基調提案 真田 祐さん(全国学童保育連絡協議会)

演題:「ますます期待される学童保育の課題と展望

～保護者・指導員・行政の協力で、安全・安心な学童保育を～」

ii) シンポジウム テーマ:「かごしまの『学童保育』を考える」

○パネラー:指導員(花木正斉さん/大口市障害児学童クラブステップ)

設置者(中村雅之さん/根占学童ひまわりクラブ)

行政(藤後竜也さん/鹿児島県青少年男女共同参画課)

マスコミ(岩松マミさん/南日本新聞編集委員)

保護者(板山智典さん/寿学童育成クラブ)

○コーディネータ:神田公司さん(熊本県学童保育連絡協議会)

☆第2回新年度を控えての指導員研修会(新人) 2009年4月26日／霧島市国分総合福祉センター

i) 指導員研修会のオリエンテーションにかえて 加来 宗暁さん(連絡会会長)

ii) 研修会 「放課後児童クラブで行われる活動と指導員が取り組む仕事の内容」

講座 ①子どもの健康管理、安全確保、情緒の安定に係る活動

②基本的な生活習慣の確立に向けた指導

③遊びや体験を通じ、自主性、社会性、創造性を培う活動

iii) ワークショップ(小グループに分かれて)

☆霧島市児童クラブ連絡会 児童クラブ対象「防犯セミナー」 2009年11月14日(土)／「霧島市シビックセンター」

i) 講師 田中 健一さん/防犯まちづくり推進指導員・子ども110番のいえ等活動

(長崎県防犯ボランティアグループ PRO-ACTIVE SECURITY)

ii) 【児童クラブ「防犯教室」カリキュラム】

詳細は、こちらへ → <http://m-jidouclub.com/09bouhanseminer.htm>

☆県連絡会 指導員「レクレーション」研修会 2009年11月27日(金)／霧島市「サン・あもり」

- i) 講師 吉原 久美子 さん(新潟県糸魚川幼稚園副園長／レクレーションコーディネーター／保育心理士)
ii) テーマ レクレーション指導法 ～よき指導者となるために～

詳細は、こちらへ → <http://m-jidouclub.com/091127recseminer.htm>

☆第3回新年度を控えての指導員研修会 2010年3月14日(日)／鹿児島市「西本願寺鹿児島別院」

- i) 指導員研修会のオリエンテーションにかえて 加来 宗暁さん(連絡会会長)
ii) 基調講演 講師：黒川 久美さん(鹿児島子ども研究センター所員・協同の組織「むぎのめ」理事長)
演題：幼い子どもの保育・子育てから見える 子どもたちと親たちの今を考える
～『新版 かごしま子ども白書』から～
iii) 研修会 「放課後児童クラブで行われる活動と指導員が取り組む仕事の内容」
講座 ①障害のある子どもの放課後の生活 花木 正斉さん／障害児児童クラブステップ
②指導員の基礎的な仕事(1)―安全と健康を守―
③指導員の基礎的な仕事(2)―毎日の仕事と実務― 田間美沙緒さん／青葉児童クラブ
iv) ワークショップ(小グループに分かれて)

詳細は、こちらへ → <http://m-jidouclub.com/20100314shidouuinkenshukai.htm>

■2010(平成22)年度

☆2010年6月13日 第2回かごしま「学童保育」シンポジウム／始良市「加治木町福祉センター」

- i) 基調講演 真田 祐さん(全国学童保育連絡協議会)
演題：「ますます期待される学童保育の課題と展望
～保護者・指導員・行政の協力で、安全・安心な学童保育を～」
ii) シンポジウム テーマ：「かごしまの『学童保育』を考える」
○コーディネータ：真田 祐さん(全国学童保育連絡協議会)
○パネラー：指導員(馬場ひとみ さん／加治木町「竜門児童クラブ」)
設置者(池田まゆみ さん／霧島市「上小川児童クラブ」)
行政(隈元 悟 さん／霧島市児童福祉課長)
子育て団体(川野 恭司 さん／鹿児島子ども研究センター)
保護者(渡辺 香代 さん／霧島市「青葉児童クラブ」)

☆2010年度県連絡会 指導員研修会 2010年11月21日(日)／阿久根市「西目地区構造改善センター」

- i) 子ども理解講座
講師：米衛 政光さん(子ども家庭支援センター「みらい」園長)
演題：「気になる子ども」の発達の理解と指し導き
ii) 昔遊び講座
講師：山本 清洋さん(「伝承遊びと創作遊び」を育てる会会長／鹿児島大学名誉教授)
演題：「遊びの支援～伝承遊びと創作遊び」 講座と遊びの実践ワークショップ
詳細は、こちらへ → <http://m-jidouclub.com/2010kenshukai.html>

☆第4回新年度を控えての指導員研修会 2011年3月13日(日)／始良市「加治木町福祉センター」

- i) 指導員研修会のオリエンテーションにかえて…「学童保育指導員への願い」 加来 宗暁さん(連絡会会長)
月刊『日本の学童ほいく』誌購読のお願い
ii) 研修講座-1 講師：隈元 羊子さん(始良市・霧島市在宅管理栄養士)
演題：小学生の食事とおやつ …おやつの位置づけ
※各児童クラブのおやつレシピ(一押しおやつetc.)
iii) 研修講座-2 講師：宮川 尚之さん(ルタンはうす院長・小児歯科医師)
演題：学童期の虫歯予防とお口のケガ予防
iv) ワークショップ(小グループに分かれて)

■2011(平成23)年度

☆県連結5周年企画 記念講演会 2011年6月19日(日)／鹿児島市「アーバンポートホテル」

- i) 記念講演 講師：村山 士郎(むらやま しろう)さん(大東文化大学教授)
演題：「今日の子育てと学童保育の役割～聞いてよ！こころのつぶやきと叫び～」
ii) シンポジウム テーマ：ブックレット『かごしまの学童ほいく』から見えてくる課題
～すべての子どもたちにいきいきとした放課後を！～
○コーディネータ：黒川 久美 さん(鹿児島子ども研究センター)
○パネラー：川野 恭司 さん(鹿児島子ども研究センター)
小牧 利明 さん(黒木わいわいクラブ)
中村 雅之 さん(根占学童ひまわりクラブ)
田間美沙緒 さん(青葉児童クラブ)
iii) 『かごしまの学童ほいく』発刊記念レセプション

☆県連絡会2011年秋 ブロック別指導員研修会 三輪睦雄先生「子育て講演会」

①大隅地区会場

日 程 2011年11月17日(木) 10:00～
会 場 鹿屋市「中央公民館」
主 催 おおすみ学童保育の会 鹿児島県児童クラブ連絡協議会
テーマ 「心つむぐ読み聞かせ世界」

②北薩地区会場

日 程 2011年11月18日(金) 10:00～12:00
会 場 薩摩川内市「川内文化ホール」
主 催 鹿児島県児童クラブ連絡協議会 (後援 薩摩川内市放課後児童クラブ連絡協議会)
テーマ 「学童保育って? 子どもたちに寄り添っていますか」(仮題)

☆2011年度(第5回)新年度を控えての指導員研修会 2012年3月18日(日) / 始良市「加治木町福祉センター」

- i) 基礎講座 今日の子育てと学童保育の役割～「かごしまの学童ほいく」の現状と課題 県連絡会事務局
ii) 研修講座
講 師:熊谷 良子(くまがい りょうこ)さん/カウンセラー・保育士 宮崎市在住
演 題:子どもと言葉のキャッチボールができていますか?(仮題)
iii) ワークショップ(小グループに分かれて)
・講座を受けてのグループ討議(課題を出し合い…ケーススタディー)

■2012(平成24)年度

☆第4回かごしま「学童保育」シンポジウム 2012年6月10日(日) / 始良市「加治木町福祉センター」

- i) 基調講演 ○講 師:伊藤 周平さん(鹿児島大学法科大学院教授・社会保障法)
○演 題:「子ども・子育て新システムと学童保育の行方」
ii) 第4回シンポジウム
○テーマ:「いま、学童保育はどうなっているの? ～語ろう 学ぼう 学童保育～」
○コーディネータ:久保田治助さん(鹿児島大学教育学部)
○パネラー:塩井 智美さん(鹿児島大学教育学部 久保田ゼミ卒)
川添 房子さん(花岡児童クラブ指導員)
井上みどりさん(南九州市企画課共同参画係)

☆県連絡会2012年秋 ブロック別指導員研修会

- 講 師:永松 範子(ながまつ のりこ)さん/神奈川県横須賀市指導員
○演 題:「子どもの心に寄り添い、働く親を支える学童保育指導員の仕事」

①南薩地区会場

日 程 2012年11月23日(金) 13:30～16:30
会 場 南さつま市「市民会館(第1会議室)」(南さつま市加世田川畑2627-1 TEL 0993-53-2331)

②肝属地区会場

日 程 2012年11月24日(土) 18:30～20:30
会 場 鹿屋市「東地区学習センター」(鹿屋市新川町114-2 TEL 0994-31-1190)(予定)

③北薩地区会場

日 程 2012年11月25日(日) 10:00～12:30
会 場 薩摩川内市「セントピア」(薩摩川内市勝目町3944-3 TEL 0996-22-7720)

☆「子ども・子育て支援法」学習会の開催—「子ども・子育て関連3法」の成立を受けて

- 演 題:「国の新しい子育て支援策で学童保育はどう変わるのか」
○講 師:真田 祐さん(全国学童保育連絡協議会事務局次長)

①大隅地区

日 時 2013(平成25)年3月16日(土) 18:30～20:30
会 場 鹿屋市「東地区学習センター」

②始良伊佐・北薩地区

日 時 2013(平成25)年3月17日(日) 10:00～12:00
会 場 始良市「加治木町福祉センター」

☆2012年度(第6回)新年度を控えての指導員研修会 2013年3月17日(日) / 始良市「加治木町福祉センター」

i) 研修講座

講 師:熊谷 良子(くまがい りょうこ)さん/カウンセラー・保育士 宮崎市在住
演 題:「子どもの発達と心理～子どもの声を聴きとる力～」

ii) ワークショップ(小グループに分かれて)

- ・講座を受けてのグループ討議(課題を出し合い…ケーススタディー)





鹿児島県児童クラブ 連絡協議会

加入の呼びかけ

子どもの育ちを一緒に考え、ともに学び交流しましょう！
子育て支援と子ども育ち・居場所づくり応援します



学童保育は、子どもにとって第二の家庭。親が働いている間、安心して過ごせる生活の場です。

○学童保育数は、2万846か所 (2012年5月1日現在)

○入所児童数は、84万696人

2005年11月、霧島市発足に伴い、国分単人児童クラブ連絡会を発展的に解消し、2007年2月4日霧島市児童クラブ連絡会を新たに発足し、2007年6月3日には鹿児島県児童クラブ連絡協議会が発足しました。

すべての子どもたちにいきいきとした放課後を！

鹿児島県内では、19市・19町・1村で346か所(前年比1増)、入所児童数は1万2094人(前年比219人増)となっています。共働き家庭の増などを背景に、本県でも児童クラブ(学童保育)の設置数は年々増加していますが、小学校数に対する設置率は全国(全国連絡会調査 97.3%)に比べてまだ低く(61.8%)、行政による助成や施策の違いもあって地域格差も大きいものがあります。

県連絡協議会では、保護者、設置者、指導員、行政、関係者とともに考え合い、子どもたちのためによりよい学童保育をつくっていくため、「かごしま学童保育シンポジウム」や指導員を対象とした系統だった研修会等を開催しています。また、鹿児島での学童保育の成り立ちと現状がどうなっているか、市町村における子育て支援施策内容等の実情を把握し、すべての子どもが健やかに育つ権利を保障するための環境整備の一助となればとの思いから、ブックレット『かごしまの学童はいく』を発刊しました。

子どもの学童への思い、保護者の願いは、そして指導員は学童保育にどう向かい合っているか、設置者、行政、学校はどんな関わりをしているのか… データをもとに鹿児島県の学童保育の現状と課題が見えてきます。

学童保育がもっと充実していくための提言と、現場での実践をコラムで—地域特性を活かした学童、指導員の仕事、しょうがい児学童の現状、小規模学童の思いなど…… ぜひ、ご購入下さい！

連絡先

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久 2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800 E-mail: a-lopas@po.synapse.ne.jp

http://m-jidouclub.com/krijidouren-index.htm



携帯サイトです。
ブックマークに登録
を！

加入申込書

児童クラブ・ 学童保育所名	住 所：〒 TEL： FAX： E-mail：
月額保育料	月 額：
保育時間	平 日： 土曜日： 長期休業日： 延長保育：
対象児童・指導員数	入所児童数： 指導員数：
運営主体等	運営形態：公営 公社・社協 法人 運営委員会 保護者会 個人 実施場所：
備 考	

【入会金】

児 童 数	会 費 / 年 額
個人会員 児童数10名以下の施設	2,000円
児童数19名以下 一施設あたり	5,000円
児童数20名以上 一施設あたり	10,000円

【入会金の振込先】 鹿児島銀行国分北出張所 (普) 173300
 〒899-4301 鹿児島県国分重久2105-1
 鹿児島県児童クラブ連絡協議会 会計：田間美沙緒
 TEL/FAX 0995-45-7800

★まず、QRコードをバーコードリーダーで読み取り会員登録！

空メールの発信(QRコード)

※1回の空メールで登録完了

※個人情報入力一切なし



k-jidouren@913800.r.just.st

★アンケートに答えて、連絡網登録を！

★属性(ブロック・規模・運営形態ごと)によるメール配信ができます